



令和2年度  
甲武信ユネスコエコパーク推進事業  
実績報告

# 甲武信ユネスコエコパークの登録日と登録エリア

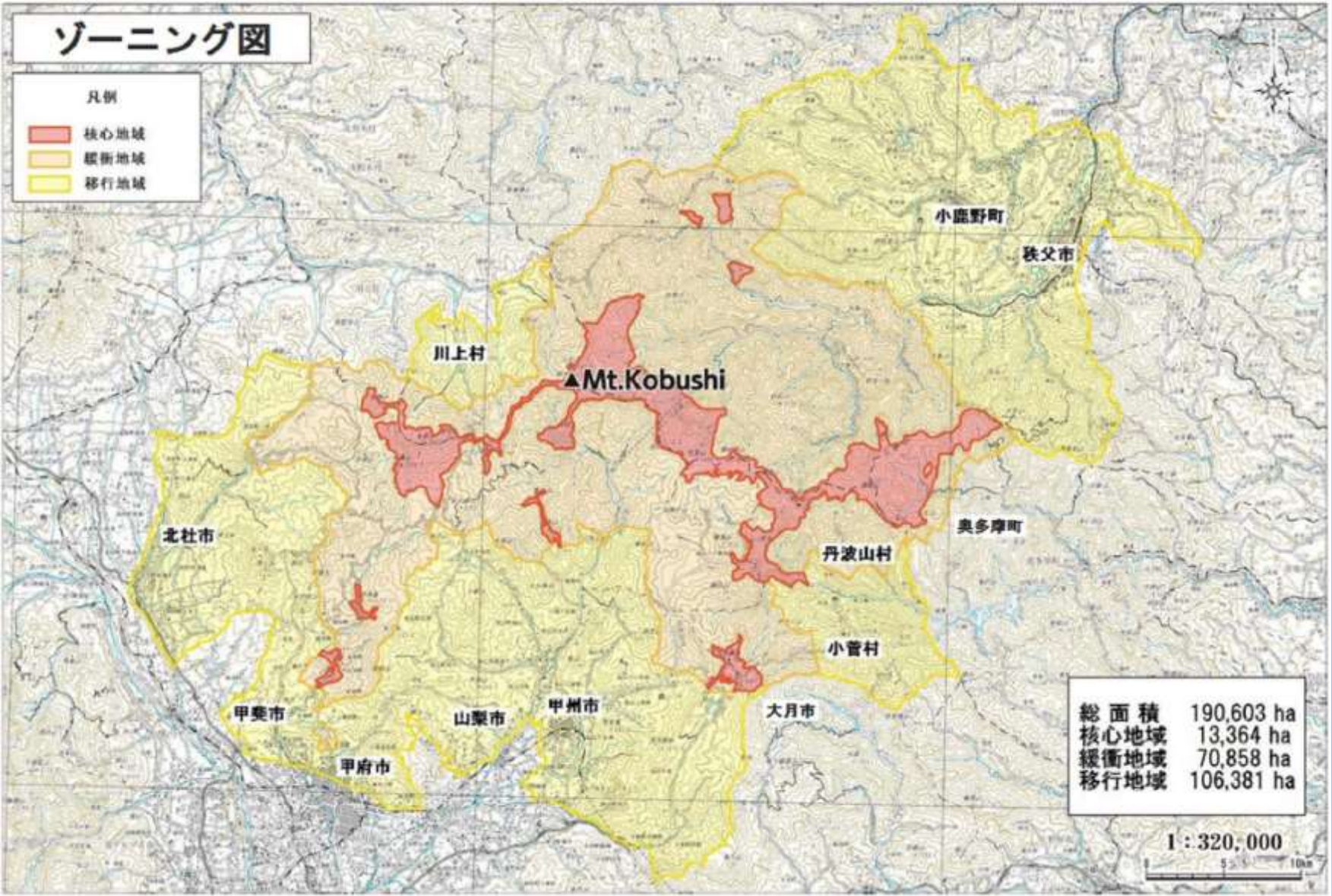
令和元年6月19日に国際連合教育科学文化機関ユネスコで承認され、ユネスコパークに登録されました。

登録エリアは埼玉県、東京都、山梨県、長野県にまたがる秩父多摩甲斐国立公園を中心とした地域です。

甲武信ヶ岳のほか、金峰山や瑞牆山、雲取山は日本百名山に挙げられています。

地域の構成は、1都3県の12市町村になります。

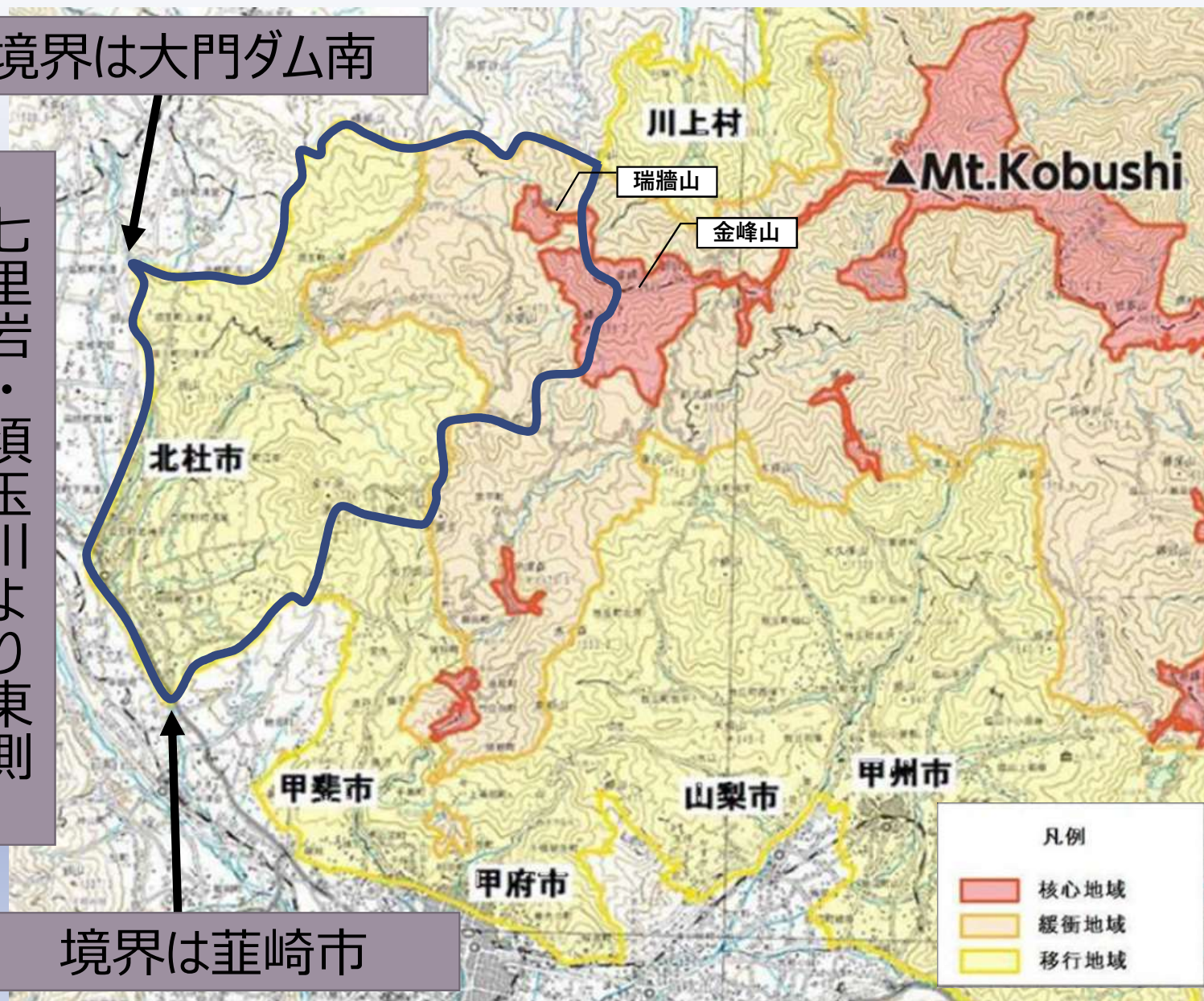
そのうち北杜市は、明野町と須玉町の、七里岩・須玉川より東側で、北は大門ダム、南は韮崎市との境までがユネスコエコパーク申請のエリアになります。



境界は大門ダム南

七里岩・須玉川より東側

境界は韮崎市



# 甲武信ユネスコエコパークの特徴

- **日本最大級の面積であるスズタケ-ブナの群団！**

太平洋型のブナ林など、非常に重要なブナやイヌブナの群落も分布しています。

- **日本のチョウ類の40%弱が生息、絶滅危惧種24種類！**

ヒメシロチョウやアサギマダラなど126種が確認。ヒメギフチョウの分布は日本最南端です。

- **大河川の源流域、首都圏を含む広大な流域の人々の暮らしや産業を支える！**

荒川、多摩川、笛吹川(富士川)、千曲川(信濃川) といった4つの大河川の源流域です。

- **産学官民等による様々な活動**

山梨県有林が取得したFSC森林認証に基づく森林の公益的機能の維持、強化など。

## 令和2年度 甲武信ユネスコエコパーク関連事業

事業名	科目	予算額	決算額
①-1 森林整備等財産区活動支援事業	消耗品	1,270千円	408千円
①-2 環境美化事業	消耗品他	234千円	0千円
①-3 エリア内動植物生態系調査支援事業	委託費	1,100千円	1,078千円
②-1 甲武信ユネスコエコパークふるさと学習勉強会事業	補助金	400千円	0千円
②-2 環境教育事業	消耗品他	125千円	0千円
③-1 北杜市甲武信ビジョン策定事業	補助金	650千円	0千円
③-2 甲武信ユネスコエコパーク登録記念啓発グッズ作成事業	補助金	300千円	0千円
③-3 甲武信ユネスコエコパーク認知度向上事業	補助金	150千円	0千円
③-4 PR・情報発信事業	委託他	2,684千円	0千円
⑤-1 関係市町村との連携事業	負担金他	291千円	200千円

## 令和2年度 甲武信ユネスコエコパーク関連事業

### ①-1 森林整備等財産区活動支援事業

■ 予算額 1,270千円 決算額 408千円

明野町並びに須玉町内の財産区、保護組合の森林保全活動の支援を行いました。

豊かな森が、きれいでおいしい水を育み、里山の様々な活動に潤いを与えてくれます。下草刈りや樹木の枝払い、道つくりの環境整備などに必要な物品購入に活用しています。



### ①-3 エリア内動植物生態系調査支援事業

■ 予算額 1,100千円 決算額 1,078千円

明野町や須玉町の町史等から、今後の基礎資料となる動植物の文献調査を行いました。

### ⑤-1 関係市町村との連携事業

■ 予算額 291千円 決算額 200千円

協議会等が主催するセミナーや講習会に自治体担当者が参加し、他のユネスコエコパークの事例を学ぶとともに、エコパークのガイドラインやエリアのパンフレットを作成しました。



## 令和2年度 甲武信ユネスコエコパーク関連事業

### ①-2 環境美化事業

■ 予算額 234千円 決算額 0千円

### ②-1 甲武信ユネスコエコパークふるさと学習 勉強会事業

■ 予算額 400千円 決算額 0千円

### ②-2 環境教育事業

■ 予算額 125千円 決算額 0千円

### ③-1 北杜市甲武信ビジョン策定事業

■ 予算額 650千円 決算額 0千円

### ③-2 甲武信ユネスコエコパーク登録記念啓発 グッズ作成事業

■ 予算額 300千円 決算額 0千円

### ③-3 甲武信ユネスコエコパーク認知度向上事業

■ 予算額 150千円 決算額 0千円

### ③-4 PR・情報発信事業

■ 予算額 2,684千円 決算額 0千円

コロナの完成拡大防止のため、連絡会の発足が延期され、それに伴い各種事業は延期となりました。

令和3年度は、コロナの影響を考慮しつつ、地域や企業の方と連絡会を立ち上げ、事業を進めていきます。